

# S・M・C

Shizuoka Medical Communication



## 医者が語る本音

～医者は病気を治しているわけではない～  
藤枝市立総合病院院長 金丸仁氏の講演を聞いて

杉山 佳代子

### ◎患者は自分の力で治り、 医者は手伝っているだけ

市の広報紙でこの講演会を知り、私は「医者は病気を治しているのにこれは何だろう」とテーマの副題に疑問を持ち、10月14日、会場のアイセル21に足を運びました。

講師の金丸先生は、「そもそも医者は病気を治せない。治るものは治る。治る力のないものは、どうやっても治せない。医者は治るものを治らなくすることだけは避けなければならない。そのために、最高の技術を磨いている。」と話されました。先生が癌の緩和医療で医者として患者に向き合う貴重な体験談は、終始人間の生き方、生とは何か、死とは何かを問いかけるものでした。先生のお話を聴くうちに副題に持っていた疑問を払拭することができました。

### ◎「先生、私おばあさんに なれるかしら」 「あと5年」

これは、会場で紹介された先生の著書「乳癌」の一節です。29歳で乳癌を発病した若い娘Yさんへの告知から手術、わずか1年2ヶ月後に肝臓

に転移してしまった癌との闘病の日々の様子が綴られています。

先生は、Yさんから本当のことを知りたいと求められたとき、動揺する患者に事実は事実として知らせ、これからの生き方を考えてもらうことを選択されました。悲しい宣告を受けたとき、人はどう対処して死が来るまで生きていくのでしょうか…。

先生は、「癌になる以前から、死の恐怖を克服するために死について考えておくべきです」、また「自己の人生をどう生きるかは、どう死を迎えるかにつながります」とも話されました。

### ◎医者と患者が真実を共有すること

先生は、癌が治らない段階で、Yさんと真剣に向き合うことができたのは、治らないことを認識し、その上で医者と患者に何が出来るかを考え、辛い事実であっても嘘をつかずに伝え、真実を共有したからこそ出来たと話されました。

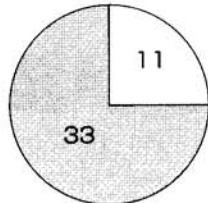
患者としてのYさんからの手紙あるいは話に、医者として常に真摯に応えてくれたインフォームド・コンセントは、人間尊重に裏付けされた貴重なものだと感動しました。

# 「医者が本音を語る」参加者アンケート

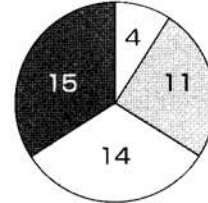
平成13年10月14日(日)の午後2時から、アイセル21の研修室で医療講演会「医者が本音を語る」を開催しました。この講演会には、SMCの会員と一般市民60名が参加しました。一般参加者の皆様にアンケートをお願いしたところ、44名の方から貴重なご意見をいただきましたので、その内容の一部を紹介します。

## (1) 出席者の性別、年齢

□ 男 11人  
 □ 女 33人

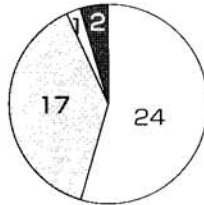


□ 10～30歳代 4人  
 □ 40歳代 11人  
 □ 50歳代 14人  
 □ 60歳代以上 15人



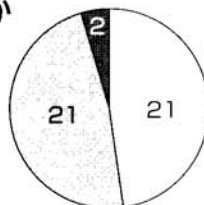
## (2) 講演会の内容は理解できましたか

□ よく理解できた 24人  
 □ 理解できた 17人  
 □ 理解できなかった 1人  
 □ 無回答 2人



## (3) 講演会の内容はあなたにとって役立つ内容でしたか

□ 大いに役立つ 21人  
 □ 役立つ 21人  
 □ 役立たない 0人  
 □ 無回答 2人



## (4) この講演を聴いての感想は

- ・ 人生の終わり方についてよく理解できた。心がやすまる思いがした。
- ・ 身近な問題で、常に気にしている事だったので聴いて良かった。
- ・ わかりやすい内容でとても素晴らしかった。
- ・ 先生が患者さんを尊敬していることを基本に、生き方を考えているなんて素敵なことだと思った。
- ・ 先生の間味が大変良かった。
- ・ これからもこの様な企画をお願いします。

## (5) 今後どのような内容の講演をお聞きになりたいですか

- ・ 高齢者の病気について
- ・ 健康、栄養、食事について
- ・ 薬について
- ・ 今後の癌治療や最新療法について
- ・ 病人を介護する人に対して精神的サポートとなる話
- ・ 今後の医療や介護についての問題点
- ・ 現役の医療者の話
- ・ 患者や医療従事者の気持ちがわかるような講演

※ SMCでは、皆様の貴重なご意見をしっかりと受け止め、今後の活動の参考とさせていただきたいと思っています。ご協力ありがとうございました。

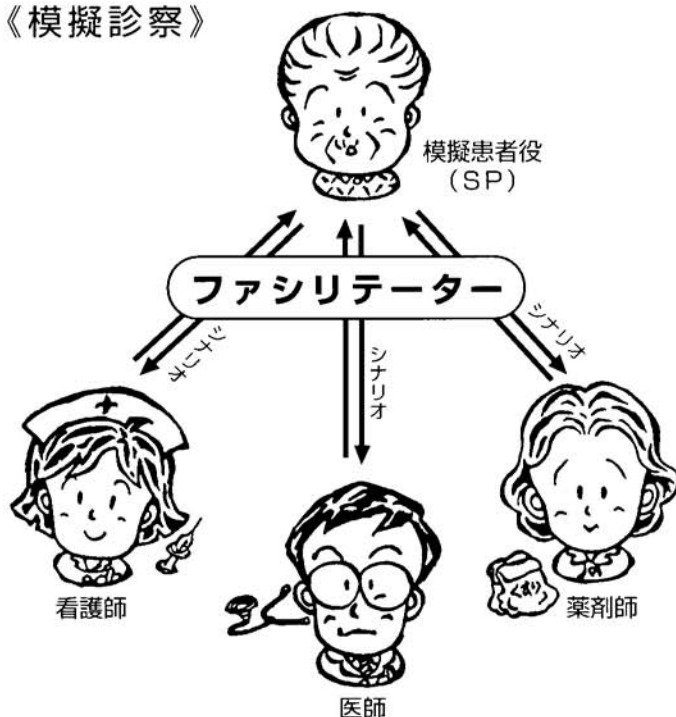
## 今なぜ模擬患者(SP)なのか？

医療はめざましい進歩をとげています。しかし、医療サービスの内容が多様化し、専門的で高度になるにつれて、適切な医療が施されたかどうかをめぐるトラブルが増えてきています。そのうちの多くは、医師と患者の間の意思伝達がうまくいってれば起こらずに済んだことだと言われています。これを受けて、医学界では医療面接（問診）の重要性を見直しています。

医療面接のトレーニングをするには、当然相手が必要です。いろいろな患者の役があり、それを演じてくれて、なおかつ改善した方が良い点について素直に意見（フィードバック）を語ってくれれば理想的です。

平成10年から私たちは、SPとして研修を積み、医療をより人間的なものにする作業に市民として関わっています。

### 《模擬診察》



## 模擬診察とは

◎模擬診察は、トレーニングを受ける医療者（医師、看護師、薬剤師）とその相手役を務めるSP、指導的立場のファシリテーターの3人で構成されています。

## 模擬患者(SP)とは

- ◎SPとは、模擬診察をとおして患者が何を考え何を訴えようとしているのかを医療者に伝える患者役のことです。
- ◎模擬診察では、シナリオに従って10～20分間患者役を務め、医療者への評価（フィードバック）をします。
- ◎SPは、医療教育に関心のある人ならどなたでもなることができます。2～3回SPの養成研修会で練習をします。

## ファシリテーターとは

- ◎ファシリテーターは、模擬診察の司会進行役を務めます。
- ◎模擬診察終了後、医療者に対してアドバイスをを行います。

## シナリオとは

- ◎シナリオとは、SPが模擬診察を行うための役作りの台本のことです。
- ◎シナリオには、医師用、看護師用、薬剤師用があります。
- ◎シナリオには、SPの年齢、性別、社会背景、性格のほか、外来、入院時を想定した上で、病気の症状を設定してあります。
- ◎医療者から患者に悪い知らせを伝えるシナリオや、患者から不安を聞き出すシナリオなどもあります。
- ◎SPになる人は、シナリオ集の中から自分に合うものを選び、シナリオ検討会においてみんなで話し合い、より良いものにしていきます。

## 静岡医療コミュニケーション研究会(SMC)の現在の活動状況

病院では、院内の研修会の中で、医療者を相手に模擬診察を行い、患者とのより良い関係作りに役立てていただいています。また、看護学校では、看護学生が看護師となって模擬診察を行い、コミュニケーション技術を学ぶための手助けをしています。

平成12年度からは、医科大学からの要請で医学生のコミュニケーション能力を判断する実技試験(OSCE)にSPとして参加しています。

# SPを使った医療面接トレーニング

藤枝市立総合病院 院長 金丸 仁

## 患者さんの話を聞くことから より良い信頼関係が生まれる

私が模擬患者（SP）という存在を知ったのは、4～5年前に大阪のコムル（COML）という団体の代表の辻本好子さんの講演を聴いた時でした。

SPを使って医師のトレーニングが出来るということは大変興味のある話でした。これまでは、医師は大学で医学のトレーニングは受けても、患者さんとのしゃべり方などをトレーニングされたことはありませんでした。従って、病院への苦情の中には、医師のちょっとした一言でいかに傷つけられたかというようなものが、かなり含まれています。SPを使ったこの様なトレーニングをすることは患者さんのためになると思いました。

そこでコムルと相談して、SPとファシリテーターを派遣していただき、医師の応対トレーニングを始めました。そこで自分自身気がついたことは、医師は一生懸命医学的に正しい説明をしようとしてはいるものの、患者さんの社会背景や事情等の考慮及び感情への配慮が足りないことで、話が医師側からの一方的なものになっていることでした。もっと相手の言い分を聞くことでより信頼関係が生まれるということが分かりました。

## SMCのSPを使って 全ての医師をトレーニング

このトレーニングは若手医師を中心に、3年ぐらいいやっていましたが、昨年からは全医師を対象として行うことにしました。医長クラスも対象としている病院は他にはないだろうと思います。

また、静岡にSMC（静岡医療コミュニケーション研究会）というSP養成の会ができたのを機に、それまで大阪のコムルと連携していたのを地元静岡のSPに変える事にしました。何といたっても

SPが近くにいる事には大きなメリットがあります。SMCでも、毎月のように研修会をもって、より高いレベルのSPを目指しており、我々の病院のトレーニングに大きな貢献をされています。

当院では、次々に新しい医師が赴任しますので、このトレーニングはこれからも続けていきますし、医師のみではなく看護師にも対象を広げようと思っています。

藤枝市立総合病院での実績

平成13年10月6日（土）

11月24日（土）

平成14年1月9日（土）

2月23日（土）

3月23日（土）

研修会には毎回約10名の医師が参加しました。そのうち4名が医療面接トレーニングを受けました。

## 平成14年度総会のお知らせ

日時：4月21日（日）、午後1時～

場所：静岡市保健所 5階講堂

内容：平成14年度事業計画及び予算案

※定例会（模擬患者練習会等）を静岡市中央福祉センター（城内町）会議室で開催いたします。この会に興味のある方は下記事務局までご連絡ください。

発行

静岡医療コミュニケーション研究会事務局

代表 森田 みつ子

〒420-0882

静岡市安東1-22-25

TEL・FAX 054-248-0348

後援：静岡市保健所・保健所総務課